表４　信号系分類例

受信行動／発信行動具体例の欄の点線上段は一般的な事例，下段は重症児にみられる事例

信号分類			分類記号	受信行動	発信行動
構成信号	型弁別的信号	分子合成的信号	チ	音声言語、電話番号の数字の組合せ、ひらがな文字、点字、指点字、モ―ルス信号、アルファベットなど	
				・会話が発語、またはサインで文脈として成立する	・発語で文脈として会話が成立する ・文字盤を棒で指し示して言葉を作る ・トーキングエイドで文を作る
		形態質的信号	ト	異なる色が電話の種類の違い、〒、漢字、交通標識、、マーク化した実物、マーク、ひらがな一字、指文字一文字、色によるマークなど	
				・日常繰り返される言葉の問いに「イエス」、「ノー」のサインで答える ・簡単な指示に対応した行動をする（例えば、「〇〇君の所へ持って行って」、「ゴロンして」等）	・自動ドアを開けるボタンを知っており、ボタンを押す ・対応するものと類似性のない身振りで伝える（例えば、「グー」は「テレビ」、「パー」は「ゴハン」等） ・カセットデッキの赤いボタンは再生、黄色いボタンは停止等の約束事を理解していて、操作できる
	象徴的信号	表出系	へ	手招き、身振り、絵、写真、擬音語、擬態語、実物、実物の断片、図、関連するからだの部分を触ることなど	
				・職員の指さした方を見る ・絵、写真等から、自ら要求するもの（こと）を選ぶ ・岐路で「どちらに行きたい？」の問いに、行きたい方に首を向ける	・独自のサイン（身振り）で、要求を伝える（例えば、「髪をリボンで結んで欲しい」ことを訴えて自分の頭を指さす、「電話して欲しい」ことを訴えて自分の手を耳に持っていく、「外泊したい」ことを訴えて自分の胸を手でトントン叩く等） ・視線で要求するもの（こと）を教える・声を出して、人を呼び止める
		表内系	ホ	イメージ、記憶像、知覚像、表象、夢、幻など	
				・おむつ交換時、お尻を軽く叩くとお尻を上げる ・着脱衣の時、補助動作がある（例えば、シャツを渡せば頭から着る、袖に手を通す、腕を伸ばす、ズボンを渡せば足からはくなど） ・歯磨き時、歯ブラシを見せると口を開く・手招きすると、近づいてくる。 ・おむつを見ると、寝ころぶ。・食事時にスプーンを提示すると手を接近させ握る ・常に興味、またはお気に入りのものを提示すると、近づいてくる ・配膳車の音を聞くと（見ると）、近づいてくる	・食べ物のあることを知っており、冷蔵庫を開ける ・排尿したい時、トイレに行く ・散歩したい時に、車いすへ移動する ・職員の腕を引っ張り、伝えたいこと（もの）のある場所へ連れて行く ・寝たい時、自分のベッドまで移動する ・慣れない人だと、介助を拒否する
自成信号	自発的な移動を伴う運動		ニ	動きなど	
				・光、または音刺激の源に近づく	・病棟内を動き回る ・病棟内を車椅子で動き回る
	外界への集中，探索・接近の動きあり		ハ	視線、語調、体幹の動き、体の向き、手指運動、眼球運動など	
				・光、または音刺激の源に顔を向ける。・職員の笑い声を聞いて、一緒に笑う ・叱りの語調に、手を引っ込める	・側の人やものを触ろうと手を伸ばしてくることがある。・食べ物に表情が変わる ・人を目で追う・抱っこしながらゆっくり移動すると明るい所や光るものに視線を向ける ・音のする方に視線を向ける
	感覚への外界からの直接的刺激に反応		ロ	表情、眼球運動、発声運動、顔・口の運動など	
				・触刺激に表情が変わる・口唇に息を吹きかけると表情が変わる・視覚刺激に瞬目する ・聴覚刺激に動きが止まる・触診に体の部位、または筋肉の動きがある・抱き上げようとすると身を硬くする・入浴すると肌の色が変わる	・抱っこするとほほえむ ・長時間の車いす乗車に、体勢を崩す
	生理的反応		イ	臭い、よだれの量、分泌、睡眠パターンなど	
				・刺激に外見上は反応は読み取り難いが、心電計、パルスオキメーター等に反応が現れる ・生体固有の体内刺激によると思われる生理的状態変化は認められる	・バイタルサイン等。 ・顔色・嘔吐・口唇の乾き